

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

令和3年8月24日に文部科学省から提供された全国学力・学習状況調査結果について、上野原市の分析結果がまとまりましたのでお知らせします。

本調査は、本年5月27日に全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることなどを目的として、小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施されました。

内容は、教科に関する調査（国語、算数・数学）と生活習慣や学習環境等に関する調査が行われ、市内4校の小学校第6学年の児童136名の内129名、3校の中学校第3学年の生徒140名の内129名が参加しました。

この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、教育委員会としましては、今後、この分析結果を生かしながら、児童生徒の学力や生活習慣の向上を図り、教育委員会教育方針であります「確かな学力と豊かな心の育成を目指した教育の充実」の実現に向けて、なお一層の教育活動を推進していきたいと考えています。

子どもたちの健やかな成長のためには、家庭、地域の協力が欠かせませんので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、各学校における教科に関する考察と今後の対策等については、個人面談や学校だよりなどにおいて保護者の皆様にお知らせする予定です。

上野原市教育委員会

○教科に関する調査の状況について

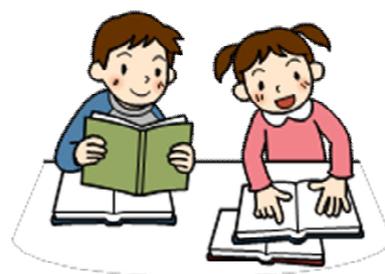
	国語	算数・数学
小学校6年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等
中学校3年生	国とほぼ同等	国とほぼ同等

*全国学力・学習状況調査では、主として「知識」に関するA問題と主として「活用」に関するB問題に分けて調査を実施してきましたが、令和元年以降は新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、A問題B問題という区分を見直し、知識・活用を一体的な問題として調査を実施することになりました。

*教科に関する考察と今後の対策については、2ページ～3ページをご覧ください。

○生活習慣や学習環境に関する調査の状況について

*4ページ～5ページをご覧ください。



令和3年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

小学校(国語)

できている点	課題となる点	今後の対策
<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えること。 ・目的や意図に応じ、資料を使って話すこと。 ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けること。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。 ・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフを含む文章を読む際に、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにした上で、文章と図表などの関係を捉えて読むことができるように指導する。 ・文章を要約するためには、目的に応じて文章全体から必要な部分を選び、内容を端的に説明することができるよう指導する。その際、要約する分量などについても目的に応じて考えられるようにする。 ・自分の主張は何か、それを支える理由や事例は何かを明らかにするなど、書く材料を整理したり関係付けたりして段落に書く内容を考えながら、文章全体の構成や展開を検討できるように指導する。

小学校(算数)

できている点	課題となる点	今後の対策
<ul style="list-style-type: none"> ・条件に合う時刻を求めること。 ・速さと道のりを基に、時間を求める式に表すこと。 ・棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ること。 ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・速さを求める除法の式と商の意味を理解すること。 ・三角形の面積の求め方について理解すること。 ・複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・速さを求める除法の式と商の意味を理解できるようにするために、図を用いて1分間あたりに進む道のりを求めていることを確かめる活動を取り入れる。また、1mあたりにかかる時間を求めた場合、数値が小さい方が速いことも理解できるようにする。 ・図形の面積の求め方を理解するために、公式を用いる上で不要な辺や線分の長さを示した図を提示し、求積のために必要な情報を選び出す活動を取り入れる。 ・変形する前の図形と変形した後の平行四辺形の関係を説明する活動を取り入れ、平行四辺形の底辺や高さが、変形する前の元の形の辺や高さとの対応に着目できるように指導する。

令和3年度 上野原市全国学力・学習状況調査 教科に関する考察と今後の対策

中学校(国語)

できている点	課題となる点	今後の対策
<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題や方向を捉えること。 ・質問の意図を捉えること。 ・文脈に即して漢字を正しく読むこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えること。 ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと。 ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの授業において、何についてどのような目的で話し合っているのかを意識するように指導する。また、話題を意識しながら、話し合いの経過を捉えて、話したり聞いたりするように指導する。 ・読みやすく分かりやすい文章にするために、読み手の立場に立って文章を整えるように指導する。 ・書いた文章を互いに読み合い、推敲する活動を通して、用いた言葉が自分の考えを明確に伝えるために機能しているか、どのような効果を生んでいるかについて検討し、誤解のない表現や効果的な表現になるように指導する。 ・文学的な文章を読み、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりする。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて、精査・解釈したのかを振り返ることで、自分の考えを確かなものにするように指導する。

中学校(数学)

できている点	課題となる点	今後の対策
<ul style="list-style-type: none"> ・与えられたデータから中央値を求めること。 ・問題場面における考察の対象を明確に捉えること。 ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。 ・ヒストグラムからある階級の度数を正しく読み取ること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明すること。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ・相対度数の必要性和意味を理解していること。 ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。 ・ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件を変えた時に、数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を見だし、数学的に説明できるように指導する。 ・様々な問題を数学を活用して解決する際に、表やグラフに表現することを通して二つの数量の関係を捉え、問題解決の方法に焦点を当て、説明できるように指導する。 ・大きさの異なる二つ以上の集団のデータについて、その傾向を比較するために相対度数が必要であることを理解できるように指導する。 ・データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断し、その理由を説明できるように指導する。 ・条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見だし活動を取り入れ、ある条件の下でいつでも成り立つ図形の性質や関係を捉え、それを数学的に表現することができるように指導する。

生活習慣や学習環境に関する調査の状況

表の数値は、選択肢のうち「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的な回答として割合を示しました。また、時間を問う質問には基準の時間を示しています。

* 次の調査結果は、重要で関心が高いと思われるものと課題となるものを抜粋しています。

1 生活習慣等について

〔単位：％〕

朝食を毎日食べていますか			
	市	全国	差
小	99.3	94.9	4.4
中	90.0	92.8	-2.8

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか			
	市	全国	差
小	89.2	81.2	8.0
中	72.1	79.8	-7.7

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか			
	市	全国	差
小	97.6	90.4	7.2
中	91.4	92.7	-1.3

普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(パソコン・携帯式のゲーム・スマホのゲームも含む)をしますか (2時間以上)			
	市	全国	差
小	55.0	49.4	5.6
中	59.7	57.0	2.7

自分には、よいところがあると思いますか			
	市	全国	差
小	82.9	76.9	6.0
中	70.6	76.2	-5.6

将来の夢や目標を持っていますか			
	市	全国	差
小	83.7	80.3	3.4
中	68.2	68.6	-0.4

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか			
	市	全国	差
小	78.3	70.9	7.4
中	69.0	65.9	3.1

人の役に立つ人間になりたいと思いますか			
	市	全国	差
小	96.9	95.5	1.4
中	91.5	95.0	-3.5

今住んでいる地域の行事に参加していますか			
	市	全国	差
小	69.0	58.1	10.9
中	55.1	43.7	11.4

- ・「朝食を毎日食べている」と答えた小中学生の割合は増えていますが、前回の調査と同様に1割の中学生が朝食を食べないで登校しています。
- ・「普段、1日当たり2時間以上テレビゲームなどをする」と答えた小中学生の割合は、平成28年度の調査結果を上回り、小学生が55.0%、中学生が59.7%となっています。学習時間や睡眠時間への影響が心配されます。
- ・「自分にはよいところがある」と答えた小中学生の割合は、前回の調査に比べて減少しました。子どもたちの自己肯定感を高める取り組みを進めていきたいと思えます。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する」また「人の役に立つ人間になりたい」と答えた小中学生の割合は、全国平均とほぼ同等となっています。今後も子どもたちの思いを応援し、育てていきたいと思えます。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の行事等が開催されない状況にありました。「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた小中学生の割合は減少しましたが、全国平均を上回っています。



2 学習環境等について

〔単位：％〕

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（1時間以上）			
	市	全国	差
小	70.5	62.5	8.0
中	79.9	75.9	4.0

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか			
	市	全国	差
小	77.6	74.0	3.6
中	74.4	63.5	10.9

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（30分以上）			
	市	全国	差
小	52.7	37.4	15.3
中	31.9	28.9	3.0

学校に行くのは楽しいと思いますか			
	市	全国	差
小	82.9	83.4	-0.5
中	65.9	81.1	-15.2

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか			
	市	全国	差
小	96.9	96.8	0.1
中	85.3	95.9	-10.6

人が困っているときは、進んで助けていますか			
	市	全国	差
小	89.2	88.7	0.5
中	86.0	88.5	-2.5

学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか			
	市	全国	差
小	99.2	94.5	4.7
中	93.0	93.2	-0.2

国語の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	96.1	93.2	2.9
中	92.3	91.6	0.7

算数や数学の勉強は大切だと思いますか			
	市	全国	差
小	93.0	93.8	-0.8
中	79.1	84.1	-5.0

英語の勉強は好きですか			
	市	全国	差
小	71.3	68.3	3.0
中	69.0	56.7	12.3

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか			
	市	全国	差
小	59.7	55.2	4.5
中	67.4	62.8	4.6

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか			
	市	全国	差
小	75.2	64.4	10.8
中	41.1	37.6	3.5

- ・「家庭（塾等を含める）で1時間以上勉強をする」また「家で自分で計画を立てて勉強をする」と答えた小中学生の割合は、全国平均を上回っています。
- ・「1日30分以上読書をする」と答えた小中学生の割合は増えていますが、前回の調査と同様に長時間テレビゲームなどをすることによる影響が心配されます。
- ・「学校に行くのは楽しい」と答えた小中学生の割合が減少しました。新型コロナウイルスの感染拡大による休校、また授業や部活などへの制限が影響していると考えます。
- ・「ICT機器を使うのは勉強に役立つ」と答えた小中学生の割合は90%を超えています。本市ではICT支援員を配置し、市内小中学校のICT教育を支援しています。
- ・「算数や数学の勉強が大切だと思う」と答えた小中学生の割合が前回の調査に比べて減少しましたが、小学生の約90%、中学生の約80%が「大切だ」と考えています。また、「英語の勉強が好き」と答えた割合では、中学生が全国平均を大きく上回っています。
- ・「新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中の勉強に不安を感じた」と答えた小中学生が多くいましたが、「休校期間中に計画的に学習を続けることができた」と答えた割合は全国平均を上回っています。本市では、休校期間中に郵送や保護者の学校立ち寄りによる学習課題の配布を実施しました。また、本年度からはオンライン学習ができるようになっていきます。